



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クイック

コード番号 4318 URL <http://919.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和納 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 平田 安彦

TEL 06-6366-0919

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,174	8.4	1,192	16.8	1,276	19.5	820	24.8
26年3月期第3四半期	7,542	15.6	1,021	58.2	1,068	42.7	657	46.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 996百万円 (46.0%) 26年3月期第3四半期 682百万円 (52.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
27年3月期第3四半期	円 銭 43.69	円 銭 —
26年3月期第3四半期	円 銭 35.04	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
27年3月期第3四半期	百万円 5,817	百万円 3,763	% 64.5	円 銭 199.76
26年3月期	百万円 5,212	百万円 3,142	% 60.1	円 銭 166.67

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,752百万円 26年3月期 3,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 13.00
27年3月期	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
27年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 2円00銭

平成27年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,370	11.4	1,347	30.3	1,430	32.6	920	38.2	48.97

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	19,098,576 株	26年3月期	19,098,576 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	310,980 株	26年3月期	310,980 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	18,787,596 株	26年3月期3Q	18,767,925 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、これらの業績予想と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、第1四半期につきましては、4月からの消費税の引き上げに伴う駆け込み需要の反動及び実質所得の低下等により、個人消費、住宅投資、設備投資が減少しました。第2四半期につきましては、夏場の天候不順により個人消費が停滞したことや円安傾向にも関わらず輸出が増加しなかったこと等により、実質GDPが2四半期連続のマイナス成長となり、この結果、平成27年10月に予定されていた消費税増税の実施は1年半延期され、平成29年4月の見込みとなりました。第3四半期につきましては、実質GDPがプラス成長に転じると想定されていますが、今後につきましても、原油安のメリットはあるものの、円安に伴う輸入原材料価格の上昇や実質所得の低下等が引き続き懸念材料となっております。

国内の雇用情勢につきましては、消費税引き上げ後の景気悪化は一時的との認識により、企業の採用意欲が引き続き堅調だったため、第1四半期におきましては、雇用者数が増加し、失業率も低下傾向となりました。第2四半期におきましては、経済情勢の悪化により、増加基調であった有効求人倍率に頭打ち傾向が見られましたが、第3四半期に入り、企業の人材不足感が引き続き強いことを反映して、失業率が低水準を維持するとともに、新規求人倍率、有効求人倍率は改善傾向となりました。

このような状況におきまして、リクルーティング事業では、サービス職やIT関連職に加え、自動車関連企業の採用ニーズが引き続き旺盛でした。また、人材派遣を活用する企業の増加等に伴い、派遣会社からの出稿ニーズも旺盛だったことから、中途採用領域全般における求人広告の取り扱いが堅調に推移しました。一方で、企業からの求人と求職者とのミスマッチ等を背景とした広告効果の希薄化を受けて、競合他社の利用や人材派遣・人材紹介サービスの活用に方向転換する企業も増えてきており、業界内での競争激化はさらに進みました。

なお、平成28年3月卒業予定の大学生向け新卒採用商品の販売スタート時期が、従来よりも3か月遅れ、平成27年3月に繰り越されたことに加え、人員増に伴う経費の増加等の影響により、売上高、利益面が前年同四半期の実績と比較して減少しています。

この結果、リクルーティング事業の売上高は1,734百万円（前年同四半期比12.0%減）、営業利益は391百万円（同31.8%減）となりました。

人材サービス事業では、人材紹介におきまして、建築・土木分野の旺盛な採用ニーズに加え、製造業等の雇用情勢も改善傾向となったため、一般企業を対象とした人材紹介は引き続き順調に推移しました。また、病院や介護施設等の医療機関を対象とした看護師紹介も、依然として採用ニーズの旺盛な状況が続いており、業績は順調に推移しました。こうした中、これらの採用ニーズの高い業種・職種では、競合他社との登録者獲得競争は激化が続いていますが、効果的なプロモーションの実施や丁寧な登録者対応により、他社との差別化及び顧客満足の向上に取り組んでおります。

また、アウトソーシング（人材派遣・紹介予定派遣・業務請負）におきましては、東海地域でのパソコンセットアップをはじめとするIT関連業務へのスタッフ派遣が好調だったことに加え、北陸・新潟地域における医療・福祉分野へのスタッフ派遣が底堅く推移しました。また、家電製品の保守・メンテナンス業務へのスタッフ派遣に加えて、当第3四半期より新潟市の地域人づくり事業である、介護人材育成事業を受託したことで、業績は引き続き順調に推移しました。

これらの結果、人材サービス事業の売上高は4,614百万円（前年同四半期比21.0%増）、営業利益は1,150百万円（同49.6%増）となりました。

情報出版事業では、主力の生活情報誌において、石川エリアの住宅及び求人広告の取り扱いが全体を牽引し、業績は底堅く推移しました。また、住宅情報誌「家づくりナビ」や結婚情報誌「結婚賛歌 北陸版」、金沢まちなか応援マガジン「Link」といったターゲットを絞った情報誌に加え、折り込みチラシ等の戸別配布の業績も順調に推移しました。しかしながら、求人広告や店舗広告等のタウン系広告分野において、競合企業の参入や価格競争の激化が続いております。こうした中、お得なグルメブック「金沢 千円で飲める店 vol. 2」、「富山 千円で飲める店」の発行や、住宅及び結婚に関する対面相談サービス「ココカラ。家づくり」、「ココカラ。ウェディング」をスタートさせる等、新しいサービスの創出にも引き続き取り組んでおります。

この結果、情報出版事業の売上高は1,220百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は17百万円（同32.0%増）となりました。

その他では、ネット関連事業におきまして、企業の人材採用や育成、福利厚生等をサポートする人事サービス業界におけるプロモーションニーズの高まりに加え、スマートフォンサイトオープン等のコンテンツ強化策に伴うアクセス数の増加により、人事・労務に関する情報ポータルサイト「日本の人事部」は、会員数、広告収入ともに拡大しました。また、同サイトのリソースを活用したイベント集客等のサービスの提供や、11月に開催した、日本の人事部「HRカンファレンス2014-秋-」の成功もあり、業績は順調に推移しました。

海外事業におきましては、QUICK USA, INC.におきまして、米国国内の景気回復を背景に、企業の正社員採用ニーズが高まっており、ニューヨークオフィスの人材紹介が底堅く推移しました。一方で、こうした景気回復による雇用情勢の改善や正社員採用ニーズの高まりによる影響から、人材派遣の業績が伸び悩みました。こうした中、引き続きスキルアップセミナーの定期開催等を通じて、登録者獲得及びブランド構築に取り組んでおります。

また、上海クイックマイツ有限公司におきましては、中国国内における外国人へのビザ発給ルールの厳格化や顧客企業における中国ビジネスの規模縮小等の影響から、アドバイザー業務をはじめとする人事労務コンサルティングが苦戦を強いられましたが、人材紹介については、顧客企業の開拓が進み、業績は順調に推移しました。

これらの結果、その他の売上高は605百万円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益は56百万円（同0.9%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,174百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は1,192百万円（同16.8%増）、経常利益は1,276百万円（同19.5%増）、四半期純利益は820百万円（同24.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、5,817百万円となり、前連結会計年度末と比較して605百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は、2,054百万円となり、前連結会計年度末と比較して15百万円減少しました。主な要因は、流動負債その他の内の未払消費税等が増加しましたが、賞与引当金、未払金が減少したことなどによるものであります。

純資産合計は3,763百万円となり、前連結会計年度末と比較して620百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上によるものであります。なお、自己資本比率は64.5%と前連結会計年度末と比較して4.4ポイント改善しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年10月31日付「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表した連結業績予想に変更はございません。

なお、今後の当社グループの状況を勘案し、連結業績予想に修正のある場合は、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,431,428	3,039,813
受取手形及び売掛金	1,116,483	871,625
繰延税金資産	148,018	91,733
その他	170,709	198,398
貸倒引当金	△2,978	△1,060
流動資産合計	3,863,661	4,200,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	366,927	358,086
車両運搬具（純額）	—	1,236
工具、器具及び備品（純額）	25,691	24,468
土地	289,674	276,869
リース資産（純額）	17,721	9,892
有形固定資産合計	700,013	670,553
無形固定資産		
リース資産	17,619	40,284
その他	101,497	99,561
無形固定資産合計	119,117	139,846
投資その他の資産		
投資有価証券	228,164	501,634
敷金	297,763	302,555
その他	8,373	6,736
貸倒引当金	△5,025	△4,083
投資その他の資産合計	529,276	806,843
固定資産合計	1,348,408	1,617,243
資産合計	5,212,069	5,817,753

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,502	161,977
短期借入金	241,900	246,000
1年内返済予定の長期借入金	19,992	16,700
未払金	498,014	398,247
未払費用	251,467	300,256
未払法人税等	267,291	239,890
賞与引当金	274,068	147,766
役員賞与引当金	25,300	—
返金引当金	17,300	8,700
その他	163,476	356,505
流動負債合計	1,990,313	1,876,043
固定負債		
長期借入金	11,702	—
繰延税金負債	15,055	111,500
資産除去債務	29,091	30,243
その他	23,460	36,734
固定負債合計	79,308	178,478
負債合計	2,069,622	2,054,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,317	351,317
資本剰余金	310,717	310,717
利益剰余金	2,456,046	2,901,171
自己株式	△18,975	△18,975
株主資本合計	3,099,105	3,544,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,682	204,511
為替換算調整勘定	1,483	4,241
その他の包括利益累計額合計	32,165	208,753
少数株主持分	11,176	10,246
純資産合計	3,142,447	3,763,230
負債純資産合計	5,212,069	5,817,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,542,360	8,174,079
売上原価	3,228,281	3,279,558
売上総利益	4,314,078	4,894,520
販売費及び一般管理費	3,292,952	3,701,947
営業利益	1,021,126	1,192,573
営業外収益		
受取利息	291	235
受取配当金	4,932	5,215
受取販売協力金	42,061	31,137
業務受託料	—	48,124
書籍販売手数料	3,170	3,946
その他	5,881	7,633
営業外収益合計	56,337	96,292
営業外費用		
支払利息	3,555	2,785
支払手数料	4,000	7,933
その他	1,507	1,214
営業外費用合計	9,062	11,933
経常利益	1,068,401	1,276,932
特別利益		
投資有価証券売却益	1,325	—
固定資産売却益	—	5,100
特別利益合計	1,325	5,100
特別損失		
固定資産除却損	—	783
固定資産売却損	21,276	—
特別損失合計	21,276	783
税金等調整前四半期純利益	1,048,450	1,281,249
法人税、住民税及び事業税	327,030	404,803
法人税等調整額	63,917	56,670
法人税等合計	390,948	461,473
少数株主損益調整前四半期純利益	657,502	819,775
少数株主損失(△)	△59	△1,102
四半期純利益	657,562	820,877

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	657,502	819,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,982	173,829
為替換算調整勘定	12,150	2,930
その他の包括利益合計	25,133	176,759
四半期包括利益	682,635	996,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	681,221	997,464
少数株主に係る四半期包括利益	1,414	△929

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リクルー ティング	人材サー ビス	情報出版	計				
売上高								
外部顧客への売 上高	1,970,907	3,814,877	1,212,025	6,997,810	544,549	7,542,360	—	7,542,360
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,149	—	10,820	12,969	41,135	54,105	△54,105	—
計	1,973,057	3,814,877	1,222,845	7,010,780	585,684	7,596,465	△54,105	7,542,360
セグメント利益	573,447	768,903	13,348	1,355,699	56,275	1,411,974	△390,847	1,021,126

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネット関連事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△390,847千円には、セグメント間取引消去88,212千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△479,060千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リクルー ティング	人材サー ビス	情報出版	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,734,219	4,614,355	1,220,484	7,569,059	605,019	8,174,079	—	8,174,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	655	—	11,216	11,871	33,681	45,552	△45,552	—
計	1,734,875	4,614,355	1,231,700	7,580,931	638,700	8,219,632	△45,552	8,174,079
セグメント利益	391,263	1,150,184	17,616	1,559,065	56,804	1,615,869	△423,296	1,192,573

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネット関連事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△423,296千円には、セグメント間取引消去95,445千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△518,741千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。